

古事記傳

二十二

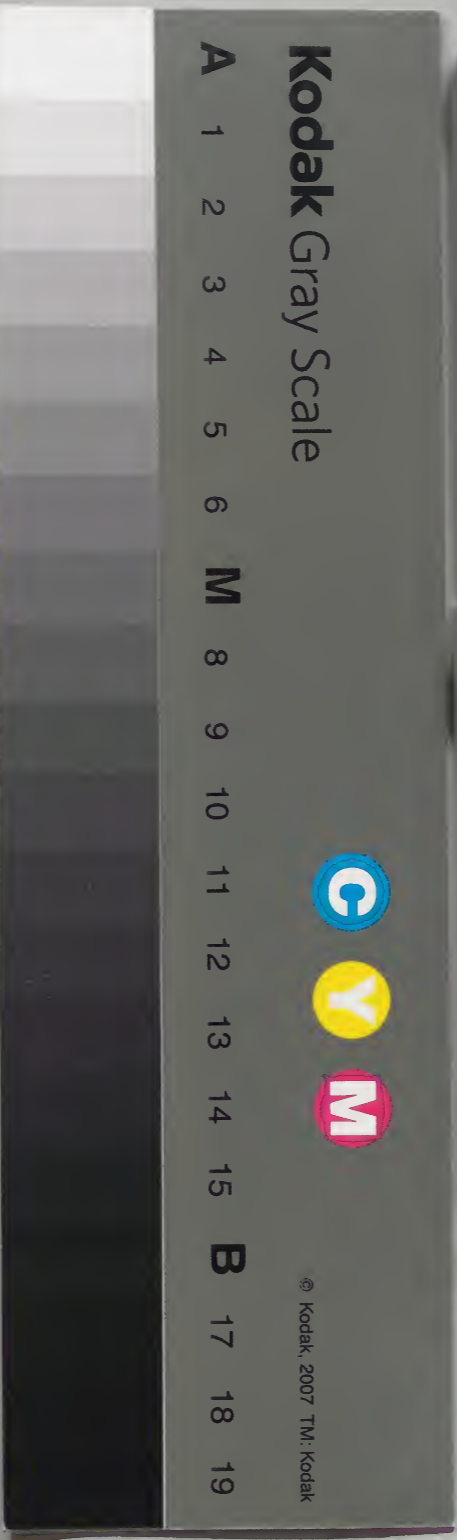
和書
一〇五二一號

和書門類	一〇五二一號
函號	七九一
架	六
冊	四八

內閣文庫	和書類
一〇五二一號	函號
四八冊	架
三七函	冊

內閣文庫	番號	和 10521
	冊數	48 (25)
	函號	137 1

内一六八二號



Blank page with faint bleed-through text from the reverse side.

Blank page with faint bleed-through text from the reverse side.

消印

古事記傳二十二之卷

境原官卷

南宮

本居宣長謹撰

オホヤマー

ネ

コ

クニ

ク

ル

ノ

ミ

コト

カ

ル

大倭根子日孫國玖琉命坐輕

之堺原宮治天下也此天皇娶

穗積臣等之祖内色許男命

許色

二字以音妹内色許賣命生御

下效此

○古事記傳二十二

一〇一

子大毘古命。次少名日子建猪

心命。次若倭根子日子大毘毘

命。柱。又娶内色許男命之女。伊

賀迦色許賣命。生御子。比古布

都押之信命。都。又娶河内

青玉之女。名波邇夜須毘賣。生

御子。建波邇夜須毘古命。柱。此

天皇之御子等。并五柱。

此、天皇后之漢様乃御謚。孝元天皇也。申次。○輕ハ上ニ
出づ。○堺原宮書紀云。四年春三月甲申朔甲午遷都於
輕地。是謂境原宮也。此宮之地乃事境岡宮段。
十七。云。或人輕村の大道乃西。今九里人。○穗

舊事紀に記せし。此氏乃世次を考ふ。宇摩志麻治命
 の子味饒田命彦湯支命彦湯支命乃子大祢命出雲醜
 大臣命出石心大臣命出石心大臣命の子大水口宿祢
 命大矢口宿祢命大矢口宿祢命乃子鬱色雄命鬱色謎
 命大綜杵命大峯大臣命乃此四人母の坂戸由良都
 姫あり同書七に鬱色謎命物部連公祖出石心命孫
 也云々の然るも此世系疑あり其故ハ大水口宿祢
 崇神垂仁乃御世の人なり此内色○大毘古命名
 許男乃伯父也せし違へをばなり
 意之ゆゑあし此命の御功乃事水垣宮段見
 えり○少名日子建猪心命日子の日ハ少名毘古那

神名乃例に依て濁ふべし少名日子ハ御兄の大
 毘古に對する名古意富々須久那猪心ハ武を心を
 云々し書紀ハ猪字ハ猪乃誤り也合せし思へハ書紀
 景行卷に屋主忍男武雄心命云云名を一云武猪心
 あり又舊事紀に伊香色雄命乃子建膽心大祢命猪
 膽心ハ中世ハ異あれ云名ハ所り然るバ男心
 少ハ近く似し故に引つ云云名ハ所り然るバ男心
 少ハ近く似し故に引つ云云名ハ所り然るバ男心
 御名乃大倭根子に對して若倭根子少ハ稱奉るはな
 里毘古ハ耳ハ同トて稱名あり言の首を濁る例ハ
 里毘古ハ耳ハ同トて稱名あり言の首を濁る例ハ
 せし切り耳ハ解ハ上に出書紀ハ七年春二月丙

比賣神社。○波迹夜須毘賣上卷。神名。此。同。ト。マ
 何。其。名。義。ハ。彼。處。傳。五。の。五。云。里。此。ハ。地。名。也。
 依。法。ハ。大。和。國。十。市。郡。天。香。山。近。き。地。也。此。地。乃
 五。丁。万。葉。一。三。丁。小。埴。安。乃。堤。二。五。丁。小。埴。安。乃。御。門。之
 原文。埴。安。乃。池。之。堤。也。云。云。所。有。此。比。賣。此。地。ハ
 住。ま。る。所。故。マ。名。ハ。負。名。也。云。云。名。ハ。負。名。也。云。云。比。賣
 ○建。波。迹。夜。須。毘。古。命。此。御。母。乃。許。子。生。立。坐。く。
 其。同。地。名。也。云。云。土。安。神。社。有。り。此。神。社。の。事。ハ。傳。五
 小。云。云。書。紀。ハ。次。妃。河。内。青。玉。繫。女。埴。安。媛。生。武。埴。安。彦
 命。也。有。り。此。命。ハ。謀。反。也。云。云。滅。れ。賜。し。事。水。埴。

木 朝段小見
 えりり

故若倭根子日子大毘毘命者
カレワカヤマトネ コヒ コオホビ ヲノミコトハ

治天下也其兄大毘古命之子
アミノシタシロシメシキソノミイロセオホビコノミコトノ

建沼河别命者阿倍臣次比古
タケヌナカハワケノミコトハ アベノオミツギニヒコ

伊那許志别命
イナナシコシベノミコト
 以音此者膳臣
以音此者膳臣

也。之祖。比古布都押之信命娶尾

張連等之祖意富那毘之妹葛

城之高千那毘賣。那毘生子。

味師内宿禰。此者山代内。又娶

木國造之祖宇豆比古之妹山

下影日賣生子建内宿禰。

建沼河別命沼河ハ奴那加波也訓法き由ル其意ル白

禰原朝乃皇子神沼河耳命の例も同ト傳廿の三此御

子の御功乃事水垣宮段又見えり。○阿倍臣阿倍ハ

決了地名也れ也ル何地也云々詳あり。駿河國ハ

安倍郡あり大和國十市郡又安部村あり。部文殊の寺

あは地なり此地名。又津國東生郡又安倍野也云也ル

古書又見えり。又津國東生郡又安倍野也云也ル

ありこれら内も也ありむ猶よく尋め。延佳頭

賀國阿拜郡を引く阿倍臣或作敢臣也云はハ那あり

敢臣ハ幣を清て阿倍臣也ハ異なり阿倍の倍ハ濁也

了思混ふ清音あり彼阿拜
郡小拜ハ清音あり敢て同
臣等凡七族之始祖也
見之垂仁卷又阿倍臣遠祖武
淳川別見えて其後此氏人御世々々小此彼見ゆ
孝徳卷又天皇即位日以阿倍内麻呂臣為左大臣蘇我
田石川麻呂臣為右大臣
あれ左右大臣乃始なり
同御世五年三月乙巳
朔辛酉阿倍大臣薨
天武卷十三年十一月戊申朔
阿倍臣賜姓曰朝臣續紀大寶元年三月阿倍朝臣御主
人為右大臣御主人ハ美宇志少訓治一宇志を主人
持統紀又ハ布勢朝臣少ありて持統天皇十年の処
初て阿倍朝臣少あり續紀二小ハ阿倍普勢臣御主人
少書は処ハ少あり布勢朝臣ハ姓氏録小阿倍朝臣同祖
少ありバ此人乃族ハ少あり布勢朝臣ハ阿倍改免

三年閏四月朔薨

大室 姓氏録左京皇別阿倍朝臣孝元天

皇皇子大彦命之後也

續紀又慶雲元年十一月改引田

銅五年十二月阿倍朝臣宿奈麻呂言引田朝臣迹南東
人船人久努朝臣御田次長田朝臣大麻呂多祁留等六
人實是阿倍氏正宗與宿奈麻呂無異但縁居處成別氏
望各止別氏俱蒙本姓詔許之○吏部王記云昔安陪氏
先祖勅令伐新羅有功大嘗會日報命因奏此舞故相傳
為大嘗會舞云々北山抄大嘗會儀吉志舞の頭書
あり此氏乃先祖又新羅を伐一免賜ハ天智紀小前
將軍後將軍等五人を遣ハ一了百濟を救一ハ阿倍引
田比邏吏臣其一人あり又二年三月前將軍中將軍後
將軍六人を遣一了二万七千人を率て新羅を伐一此
時ハ彼比邏吏臣後將軍乃一了建沼河別命の御後
人なりとれら此時ハ
之阿倍氏の外ハ小姓氏録又竹田臣阿倍朝臣同祖大
彦命之男武淳川別命之後也見之國造本紀小須羽

孫建諸隅命乃子倭得玉彦命亦云市大稻日命母ハ葛
大諸見足居女諸見己姫云云是高千那毘賣名義千
は上ふ見え云々速乃千々同小那ハ名ク兄名
稲日也舊事紀子書依依ハ稲乃意ウ師ハ兄名合
毘連ま名小賣ハ女ナリ云云是心ナリ
省キ云云依同例ナリ云云比賣ハ舊事紀
考る小大稲日命ハ妹ハ小ハ其父の建諸隅
命乃妹ハ大海姫命亦名葛木高名姫命云云此高
名姫切テ其ハ此記乃如ク大稲日の妹ありト
誤ル其父の妹ハ大海姫乃亦名ハ傳ト

大海姫ハ水垣宮天
皇妃ハ別ありト大稲日乃母葛木直の女ナレ
ば高千那毘賣ハ同母ありト母許ハ葛木不在シ故あり
葛城之ハ云云注那毘二字以音ハあは
かハ那毘賣三字云々有注ハ味師内宿祢
宇麻志宇智能須久注訓ハ味師ハ可美葦茅可伶
小汀ハ乃例ありト美称ハ宇麻志麻遲ハ云名ハ
りハ師字ハ意ありト又音を取ル假字乃例ありト
多しハ師木土師ハ如ク例ありト又地名
は非次記中ハ此字を假字ハ用ハ例ありト又地名
例ハ音を訓ハ雜ハ書ハ内ハ地名ハ其事建
内宿祢乃處ハ云云宿祢ハ遠飛鳥宮段哥ハ須久祢

き小非波。舉之序の母乃尊早。次序の書紀小弟也。あ
休を以定む。○山代内臣山代山城國なり。此國
は水垣宮内。和名抄小山城國綴喜郡宇智郷これな
り。書紀雄略卷小山背内村神名式小綴喜郡内神社
あり。今内里村云。此姓の書紀欽明卷十四年
乃事見右。姓氏錄大和國皇別内臣孝元
天皇皇子彦太忍信命之後也。まの山公内臣同祖味内
宿祢之後也。大和國小移之。後。○木國造
國造本紀。紀伊國造檀原朝御世神皇產靈命五世孫
天道根命定賜國造姓氏錄河内國神別紀直神魂命五

世孫天道根命之後也。まの和泉國神別紀直神魂命子
御食持命之後也。木國造の水垣宮段書紀敏達卷直
豐耳也。云人見右。國造直少の同氏なり。此上
卷小天津日子根命木國造祖也。は茨木なり。が茨
字乃脱。論了。如。續紀小神龜元年十
七の七十六葉。論了。如。續紀小神龜元年十
月。紀伊國名草郡大領紀直摩祖為國造。幸乃時あり。
天平元年三月。紀直豐嶋為紀伊國造。延曆九年五月。紀
直五百友為紀伊國造。見え。續後紀。養和二年。又三代
實錄。貞觀五年。小紀直氏の人。宿祢姓を賜。之見
え。續後紀。喜祥二年。紀伊守伴宿祢龍男。與。貞觀儀
式。出雲國造也。紀伊國造也。任式を載られ。他

此人乃子孫の。後山山城國綴喜郡乃地也。移居住る。
 ぐ。奮の大和孔居地の名を取。其地を内村也。云。
 内臣は云ふ。又彼子孫も。少より大和乃居地也。
 よりて。内臣を云ふ。山城も移居。其内臣孔居地也。
 故。其地を内村也。云。何。其地。大和
 なる。本。山城。此子孫の居佳。依。
 地名。下卷。高津宮段。大御歌。此人。城。宇。知。能。阿。曾。
 中。よ。ま。せ。賜。り。書。紀。神。功。卷。の。哥。あ。り。然。あ。り。阿。曾。美。
 乃。畧。あ。り。阿。曾。美。の。事。は。彼。續。紀。慶。雲。四。年。の。詔。詞。は。
 大御哥。乃。下。ふ。い。は。彼。續。紀。慶。雲。四。年。の。詔。詞。は。
 建内宿祢命。の。ま。り。け。て。書。紀。お。彦。太。忍。信。命。是。
 武内宿祢之祖父也。少。何。り。景。行。卷。三。年。春。二。月。庚。
 寅朔。卜。幸。于。紀。伊。國。將。祭。祀。群。神。祇。而。不。吉。乃。車。駕。止。之。
 遣。屋。主。忍。男。武。雄。心。命。武。令。祭。爰。屋。主。忍。男。武。雄。心。
 措。心。云。武。令。祭。爰。屋。主。忍。男。武。雄。心。

命。請。之。居。于。阿。備。柏。原。而。祭。祀。神。祇。仍。住。九。年。則。娶。紀。直。
 遠。祖。菟。道。彦。之。女。影。媛。生。武。内。宿。祢。也。何。り。此。記。乃。傳。也。
 異。あ。り。他。書。少。あ。り。書。紀。中。同。く。建。内。宿。祢。を。い。
 孝。元。天。皇。乃。曾。孫。彦。太。忍。信。命。の。孫。也。せ。り。あ。
 此。人。の。生。成。務。卷。小。初。天。皇。與。武。内。宿。祢。同。日。生。之。
 也。何。り。年。紀。合。次。其。故。の。ま。り。景。行。卷。三。年。小。父。命。紀。國。
 也。此。人。ハ。景。行。御。世。の。四。年。よ。り。十。二。年。ま。り。乃。間。
 立。為。太。子。年。二。十。四。也。成。務。天。皇。は。景。行。天。皇。四。十。六。年。
 然。也。此。天。皇。乃。生。坐。一。は。乃。十。二。年。よ。り。十。一。年。
 後。也。此。天。皇。又。此。天。皇。太。子。立。坐。一。は。乃。景。行。卷。あ。は。
 五。十。一。年。の。事。あ。り。四。十。六。年。也。あ。を。誤。也。五。
 十。一。年。小。御。年。二。十。四。也。計。は。廿。八。年。小。生。坐。
 年。一。百。七。歲。也。あ。を。以。計。は。景。行。の。十。四。年。小。生。坐。
 何。れ。也。其。あ。り。二。年。後。也。是。く。成。務。

天皇乃御年紀也。彼是也。皆合也。此乃生之年也。
仁德天皇の御年紀也。彼是也。皆合也。此乃生之年也。
仁德天皇の御年紀也。彼是也。皆合也。此乃生之年也。
仁德天皇の御年紀也。彼是也。皆合也。此乃生之年也。
仁德天皇の御年紀也。彼是也。皆合也。此乃生之年也。
仁德天皇の御年紀也。彼是也。皆合也。此乃生之年也。
仁德天皇の御年紀也。彼是也。皆合也。此乃生之年也。
仁德天皇の御年紀也。彼是也。皆合也。此乃生之年也。
仁德天皇の御年紀也。彼是也。皆合也。此乃生之年也。
仁德天皇の御年紀也。彼是也。皆合也。此乃生之年也。

十一、年、小、棟、梁、之、臣、也、見、之、
棟梁、誰、成、屋、宇、推、古、卷、小、兩、僧、弘、演、佛、教、並、為、三、室、之、棟、
梁、續、紀、八、小、道、藏、定、惟、法、門、神、領、釋、道、棟、梁、同、并、三、子、臣、
父、及、叔、者、並、為、聖、代、之、棟、梁、共、作、明、時、之、羽、翼、也、見、之、漢、
籍、亦、小、固、より、何、の、字、も、統、帥、の、意、も、あり、と、云、を、同、意、な、
る、云、小、同、ト、故、述、世、俗、近、乃、中、の、長、也、者、を、棟、梁、也、
云、免、り、此、も、然、不、意、を、得、く、書、也、也、あ、れ、ハ、訓、ハ、字、不、
は、拘、ふ、を、訓、法、然、不、意、を、得、く、書、也、也、あ、れ、ハ、訓、ハ、字、不、
心、下、子、也、訓、法、然、不、意、を、得、く、書、也、也、あ、れ、ハ、訓、ハ、字、不、
如、く、心、得、ふ、也、誤、也、なり、成、務、天、皇、三、年、小、為、大、臣、也、見、
え、其、後、仁、德、天、皇、の、五、十、年、ま、だ、見、之、り、抑、上、代、乃、
人、の、中、小、後、世、ま、だ、名、高、き、也、此、大、臣、小、及、ハ、世、

小遍く語傳了り信子六御代乃朝お仕奉る中忠
誠小功績多く續紀三藤原不比等子食封を賜ふ詔小
宿祢命乃仕奉賈流事止同事叙止勅而云々又天平八
年の詔子昔者輕塚原大宮御宇天皇曾孫建内宿祢蓋
事君之忠致人臣之節創為八命長めりあ中は世小
氏之祖永遺万代之基云々比ひて高津宮天皇乃大御歌めり那許曾波余能那
賀能比登汝くそは世のやよませ賜ひ書紀子は難虛
臂等難處曾波區耳能那饑臂等大臣御答歌めり阿礼
やあり世乃遠人國の長人なり大臣御答歌めり阿礼
許曾波余能那賀乃比登やあり誠小書紀の年紀小據
く計はふ大凡三百歳子餘子不及のち中なりやむら
景行天皇四年より仁徳天皇五十年まで二百八十
九年切り十二年より計はふ二百八十一年なりは

仁徳の五十年より後を幾年存在せむ事は
何年なり見ありは壽數も定免ふは既く七人なり
お此人乃墓の事見えし其世は既く七人なり云
依ありあれ此大臣乃事後世の書なり小ハ二ツを云バ
帝王編年記お仁徳天皇七十八年庚寅大臣武内宿
祢薨年未詳一説云景行天皇九年己亥生云云紀臍臣
氏久云武内宿祢大臣者六代帝為大臣也遂不知其死
處一書云伐平東夷還時称身苦由入於申斐國也不知
其死處者一書云入於美濃國不破山一書云還來大和
國葛下郡薨室破賀墓是也云云仁徳五年薨年二百
八十九云此彼也あり水鏡お仁徳五年生仁徳七十八
年庚寅薨年三百十二云云景行九年己卯生仁徳七十
二百八十云云公卿補任小ハ景行九年己卯生仁徳七十
六十云云此れなり云云愚管抄お仁徳三百年八十餘
云仁徳又武内傳云物小因幡國風土記曰難波高津宮
治天下五十五年春三月大臣武内宿祢御歳三百六十
餘歲當國御下向於龜金双履殘御陰所不知蓋因幡
國法美郡宇倍山麓有神也曰宇倍神社是武内宿祢

者。木臣。都奴臣。次父米能摩伊

刀比賣。次怒能伊呂比賣。次葛

城長江曾都毘古者。玉手臣。的

阿藝那臣。又若子宿禰。江沼財

等之祖也。九は九人なり師の許々能多理訓を以て家小従ふ法

古事記の訓は、此の對する男子を年須古云は、常は書紀の訓は、然るに此の對する男子を年須古云は、乃訓は、世に通く云ふれ、古言多う、故に書紀は、波多八代宿禰波多は、唐地名なり、此地名國々小多めれ、今何れも定免難き中、了都大和の於、依法きの其は書紀、神武卷、小層富縣、波多、岬、有、新城、戸畔者、見え、此波多は、添、上下、郡、乃、内、又、神、名、式、小、高、市、郡、波、多、神、社、波、多、懸、井、神、社、和、名、抄、同、郡、小、波、多、郷、小、あり、推、古、紀、北、年、五、月、五、日、藥、獵、之、集、于、羽、田、以、相、連、參、赴、於、朝、也、此、波、多、也

治田宮は高市郡あり書紀履中卷此
鳥羽來羽田之汝妹也羽田小同ト羽田
二の内也又此人乃子孫河内和泉此彼也
依を以見之は和名抄子河内國茨田郡幡多神名式小
和泉國和泉郡波多神社日根郡波太神社ある是ら此
地して河内也八代は是れ地名なり詳あり
次此人乃名書紀は羽田矢代宿祢也書きしり應神
紀履中紀乃始○波多臣波多は上の波多あり此氏書
紀天武卷小十三年十一月波多臣賜姓曰朝臣也見ゆ
推古卷子波多臣廣庭持統卷子羽田朝臣齋續紀一
牟後同廢帝紀子八多朝臣百嶋あり云人見尤
依同人なり

皇別小八多朝臣石川朝臣同祖武内宿祢命
之後也○林臣林ハ地名なり此ハ國々小多ありハ何
也中ハ定免あり是れ也和名抄子河内國志紀郡拜志
郷此ありむ彼國子此氏ありハなり天武紀小十三
年十一月林臣賜姓曰朝臣姓氏錄左京皇別小林朝臣石川
朝臣同祖武内宿祢之後也中皇別林朝臣道守朝
臣同祖武内宿祢之後也續紀卅九小河内國志紀郡人
林臣海主野守等改臣賜朝臣也何り姓氏錄子林宿祢
異姓なり又蘇我ハ鹿を林臣也云依り皇極
紀子見右ハ何處乃地名子依り名あり○波美
臣これハ地名也南河内也詳なり次神名式子近江國

伊香郡波弥神社。同郡八代志漏神社。丹後國丹波郡

波弥神社あり是ら此地ゆり天武紀十三

年十一月波弥臣賜姓曰朝臣本彌字を祿し誤り

姓氏録又此姓見之續紀北二播美朝臣與人云

人見ゆ。○星川臣星字諸本並黒作依ハ誤なり星川

は和名抄太和國山辺郡星川保之郷あり是切り武

國久良郡伯耆國會見郡此郷名天武紀小星

川臣麻呂云人見ゆ其子黒麻呂續十三年十一月星

川臣賜姓曰朝臣姓氏録大和國小星川朝臣石川朝臣

同祖武内宿祢之後也。敏達天皇御世依居地賜姓星川

臣也。○淡海臣崇峻紀小近江臣滿云人見ゆ此

姓氏録見之淡海真人淡海朝臣○長谷部君

續紀北六小長谷部木麻呂長谷部公真子北九二參河

國碧海郡人長谷部文選云人見之此氏人

和名抄參河國碧海郡乃郷名谷部所

若此假字付よらしく此郷ハ長谷部此長字

省ま二字書依例此郷ハ長谷部此郡此氏

人見之此此郷ハ長谷部此郡此氏

右の氏々乃外小姓氏録左京道守朝臣

波多朝臣同祖波多矢代宿祢之後也河内國道守

朝臣波多朝臣同祖武内宿祢男八多八代宿祢之後也

道守臣、道守朝臣同祖。武内宿禰男波多八代宿禰之後也。和泉國皇別道守朝臣波多朝臣同祖。八多八代宿禰之後也。三代實錄九小右京人。因屋公祖代賜姓八多朝臣。其先出自八太屋代宿禰也。○許勢小柄宿禰許勢ハ居地名スルトコノナ。和名抄云大和國高市郡巨勢鄉。これハ神名帳云同郡巨勢山坐石椽孫神社あり。万葉云巨勢山を賦ふ歌多し。一ノ北四丁七乃六丁十の六丁十二の十九丁又一乃勢道一乃北四丁下許湍乃春野ハ七丁小柄表加良々訓法舊印本小柄を朝作体ハ誤ナリ。諸本小柄ハ和名抄云柄器物蓋柯也和名衣。三代實錄五小ハ男韓也書名義未思得一云賀良。

次此人三代實錄云は第五男也見えり。○許勢臣許勢ハ上の如し。此氏ハ下小引不續紀文云依小柄宿禰乃男乎利宿禰の後ハ書紀継躰卷小元年許勢男トホ人臣大臣オホオミ云依よし見ゆ北三年九月薨。孝徳卷云大化五年巨勢徳陀古臣為左大臣齋明紀四年正月薨。此外小此氏人ハ此彼見えり。天武紀云十三年十一月巨勢臣賜姓曰朝臣。姓氏錄右京別小巨勢朝臣石川朝臣同祖。巨勢雄柄宿禰之後也。巨勢檄田朝臣雄柄宿禰四世孫稻茂臣之後男。荒人天豊財重日足姫天皇謚皇極御世遣佃葛城長田其地野上。溉水難至。荒人能解機術。始造長檄川水灌田。

天皇大悅賜掖田臣姓也。巨勢斐太臣。巨勢掖田同氏。巨勢雄柄四世孫。稻茂男。荒人之後也。許勢臣稻持欽巨勢掖田臣。武内宿禰之後也。○雀部臣。天武紀。小十三年十一月。雀部臣賜姓。曰朝臣。續紀十八。小典膳正六位下。雀部朝臣真人等言。磐余玉穗宮。勾金椅宮。御宇天皇御世。雀部朝臣男。為大臣供奉。而誤紀。巨勢男。大臣真人等。先祖。巨勢男柄。宿禰之男。有三人。星川。建日子者。雀部朝臣等祖也。伊刀。宿禰者。輕部朝臣等祖也。牟利。宿禰者。巨勢朝臣等祖也。淨御原。朝廷定八姓之時。被賜雀部朝臣姓。然則。巨勢雀部。雖元同祖。而別姓。之後。被任大臣。云

云。望請改。巨勢大臣。為雀部大臣。云々。大納言從二位。巨勢朝臣奈氏麻呂。亦證明其事。於是。下知治部。依請改正之。男人大臣の事許姓氏錄。左京小雀部朝臣。巨勢朝臣。同祖。建内宿禰之後也。星河。建彥。宿禰。謚。應神御世。代於皇太子大鷦鷯。尊。繫木綿。禪。掌。監。御膳。因賜名。曰大雀臣。云々。雀部。負。依。由。緣。切。り。又。攝津國雀部朝臣。巨勢朝臣。同祖。建内宿禰。命。之後也。文德實錄六小雀部朝臣春臣。也。林。朝臣。並人等。改姓。紀。朝臣。也。あり。は。て。神八井耳。命。の御後。あり。此。同。ト。姓。あり。る。上。み。出。り。り。傳。二十の。佐。邪。伎。辨。也。訓。法。き。こ。り。彼。處。云。云。が。如。し。○輕部臣。輕部。云々。大和國高市郡。

の輕カニ子依ヨりて、カニ如カ是コ負ヘ由ヨ縁シハ、詳サカあり
後ノ天テ皇ミコ御ミコ世ヨ獻ケル加カ里リ乃ハ郡ノ仍モ賜ケル姓ノ輕カニ部ノ君ノ也ナリ雄ヲ畧ス
由ヨ縁シのノ一ト乃ハ例ノ也ナリ 休ム此ノ氏ノハ上ニ引ケル不レ續ス紀ノ十ノ八ノ
乃ハ文ノ小ノ依リ子ノ小ノ柄ノ宿ノ祢ノの男ノ伊ノ刀ノ宿ノ祢ノ乃ハ後ニ切リ天ノ武ノ紀ノ
又ハ十ノ三ノ年ノ十ノ一ノ月ノ輕ノ部ノ臣ノ賜ケル姓ノ曰ク朝ノ臣ノ也ナリ見ル由リ姓ノ氏ノ錄ノ小ノ
は見ル之ノ後ニ輕ノ部ノ輕ノ部ノ連ノ也ナリ右ノの氏ノ々々乃ハ外ニ也ナリ 姓ノ氏ノ
錄ノ未レ定ス小ノ鷄ノ甘ノ部ノ首ノ武ノ内ノ宿ノ祢ノ男ノ已レ西ノ男ノ柄ノ宿ノ祢ノ之ノ後ニ也ナリ
○蘇ノ賀ノ石ノ河ノ宿ノ祢ノ蘇ノ賀ノハ居ル地ノ名ノ也ナリ神ノ名ノ帳ノ又ハ大ノ和ノ
國ノ高ノ市ノ郡ノ宗ノ我ノ坐ル宗ノ我ノ都ノ比ノ古ノ神ノ社ノあり此ノ地ノ也ナリ万ノ葉ノ
十二ノ二ノ十ノ丁ノ乃ハ真ノ管ノ吉ノ宗ノ我ノ乃ハ河ノ原ノ也ナリ也ナリ此ノ處ノあり

後ノ世ノ子ノ出ル雲ノをレ下ノ野ノをレ好ム書ノ紀ノ推ス古ノ卷ノ子ノ蘇ノ我ノ馬ノ子ノ大ノ
云ハ由リ由リあキきハひガくク也ナリ 臣ノ令テ奏ス于リ天ノ皇ノ曰ク葛ノ城ノ縣ノ者ノ元ノ臣ノ之ノ本ノ居ル也ナリ故ニ因テ其ノ縣ノ為ス
姓名ノ云々 因テ其ノ縣ノ為ス姓ノ名ノ也ナリ云ハ依リ心ノ得ル也ナリ皇ノ極ノ紀ノ子ノ
也ナリ 蘇ノ我ノ蝦ノ蟻ノ大臣ノ祖ノ廟ノを葛ノ城ノ高ノ官ノとシ立テ事ノ小ノ
也ナリ 今ハ曾シ我ノ村ノ高ノ市ノ郡ノ小ノ在リ葛ノ城ノ下ノ郡ノの堺ノ也ナリ
近シ也ナリ 古ノハ此ノ也ナリ 葛ノ城ノ縣ノ乃ハ内ニ也ナリ 石ノ河ノハ和ノ名ノ抄ノ也ナリ 河ノ内ノ國ノ石ノ川ノ以テ之ノ郡ノ也ナリ 三ノ代ノ
實ノ錄ノ卅ノ二ノ小ノ石ノ川ノ朝ノ臣ノ木ノ村ノ言ス始メ祖ノ大ノ臣ノ武ノ内ノ宿ノ祢ノ男ノ宗ノ
我ノ石ノ川ノ生ル於リ河ノ内ノ國ノ石ノ川ノ別ノ業ノ故ニ以テ石ノ川ノ為ス名ノ賜ケル宗ノ我ノ大ノ
家ノ為ス居ル因テ賜ケル姓ノ宗ノ我ノ宿ノ祢ノ云々 賜ケル姓ノ宗ノ我ノ宿ノ祢ノ也ナリ 誤ス
也ナリ 此ノ時ノ宿ノ祢ノハ名ノ也ナリ

又附敏達紀云蘇我馬子宿禰の石川宅見えり此は非次
々別業なり此の氏は蘇我馬子宿禰の石川宅見えり此は非次
川村あり此の氏は蘇我馬子宿禰の石川宅見えり此は非次
いり此の氏は蘇我馬子宿禰の石川宅見えり此は非次
名ハ河内の依り此の氏は蘇我馬子宿禰の石川宅見えり此は非次
五〇蘇我臣上の蘇我依り此の氏は蘇我馬子宿禰の石川宅見えり此は非次
滿智宿禰雄畧紀云蘇我韓子宿禰あり見ゆ宣化紀云
元年以蘇我稻目宿禰為大臣欽明紀卅一年三月薨敏達紀云元
年以蘇我馬子宿禰為大臣推古紀卅四年五月薨舒明紀
云蘇我蝦夷臣大臣あり皇極紀四年六月子孝德紀蘇
我倉山田石川麻呂臣右大臣あり是右大臣乃始なり
天智紀云三年五月大紫蘇我連大臣薨此人乃事前

紫連子也無一但し續紀六云近江朝大臣大
赤兄臣為左大臣天武紀元年八月配流後小此氏石川改ま
天武紀十三年十一月石川臣賜姓曰朝臣石川改ま
此より前也聞ゆ天武の御世小此氏錄左京石川朝臣
孝元天皇皇子彦太忍信命之後也此見ゆ三代實錄卅
二云右京人石川朝臣木村箭口朝臣岑業改石川箭口
並賜姓宗岳朝臣木村言云々此次の文上より引玉姓氏
宿禰四世孫稻目宿禰之後也此見ゆ古今集云宗
岳大頼云作者あり此宗岳をむねをり也假字小
書多きを餘材抄云蘇我或ハ宗我書來也宗岳
改えり此は馬子蝦夷入鹿赤兄子逆臣あり
け也此後蘇我氏乃人小聞えり續日本紀より續日
本後紀より此氏見え然るば蘇我書不時逆臣也

至し城忌る我を岳と改めしとける。此集古本ハ皆
真名。宗岳此書を志をむむをり。後人乃お
考乃如く書せしむる。今按、宗岳ハ餘材抄の
が、乃如く文字をのり改めし。今按、宗岳ハ古の如く
も古より乃由縁より然也。彼時代至るハ、姓氏
も宜きを撰び、人の名、如く唱ふ。姓も多し出来
頃、あれハ本よ、人の名、如く唱ふ。姓も多し出来
然ふも、ハソガの音小、美字を撰び、其訓を
取、亦、ハ又續紀より、蘇我氏乃人の見
え、ハ石川也。改まり、故なり。石川邊臣此地
川朝臣の人は世と多く見え、故なり。石川邊臣此地
名諸國と多かれは、何也。定免難し。和名抄と撰津國
河邊、乃倍郡これなり。其餘畿内は山城國葛野
郡大和國十市郡なり。此郷名ハあり。此
氏人書紀と彼此見え、天武紀と十三年十一月

川邊臣賜姓曰朝臣。姓氏錄。右京川邊朝臣武内宿禰四
世孫宗我宿禰之後也。此宗我宿禰ハ別ハ蘇賀石。田
中臣此地ハ慥、舒明紀。八年。災、固本宮。天皇遷
居田中宮。此ハ今大和國高市郡。田中村あり。其
処、ハ又神樂哥。殖槻也。田中杜也。添下
郡あり。此云。殖槻。万葉十三長哥。見ゆ。其郡
あり。今も田中村あり。右乃二の内。みや。上卷。み
倭。田中直也。云。姓ハ。傳七の七。此、氏人。天武紀
と。田中臣足麻呂。田中臣鍛師。見ゆ。十三年十一月
田中臣賜姓曰朝臣。姓氏錄。右京田中朝臣武内宿禰五

紀子櫻井寺推古紀小櫻井見ゆ。之れ右の河内乃
ふや河々む。又神名式子。和泉國大鳥郡櫻井神社あり。
又今大和國十市郡子。櫻井云處あり。其外國々小
此名あり。
估て此氏人。舒明紀子。櫻井臣和慈古見ゆ。天武紀小。十
三年十一月。櫻井臣賜姓。曰朝臣。姓氏錄。左京櫻井朝臣。
石川朝臣同祖。蘇我石川宿禰四世孫。稻目宿禰大臣之
後あり。○岸田臣。此氏人。天智紀子。岸田臣麻呂見ゆ。天
武紀子。十三年十一月。岸田臣賜姓。曰朝臣。姓氏錄。右京
岸田朝臣。武内宿禰五世孫。稻目宿禰後也。男小祚臣孫
耳高家居岸田村。因負岸田臣號。此あり。岸田村國を云。

さゆハ大和の河々む。今山辺郡子。此名乃村あり。其
う。文德實録九小。攝津國人子。此姓見ゆ。○平群都久宿
禰平群ハ。居地乃名おて。和名抄子。大和國平群里。倍久郡
是也。平群郷小。河々。神名帳子。同郡平群石床神社。平
群神社。平群坐紀氏神社あり。倭建命乃御歌子。多
多美許母幣具理能夜麻能云云。雄略天皇の大万葉十
六下小。八重疊平群乃山尔云云。估て此人ハ。書紀仁德
卷子。初天皇生日。木菟入于産殿。明且誓田天皇喚大臣
武内宿禰。語之曰。是何瑞也。大臣對言。吉祥也。復當昨日
臣妻産時。鷓鴣入于産屋。是亦異焉。爰天皇曰。今朕之子

與大臣之子同日共産並有瑞是天之表焉以為取其鳥
名各相易名子為後葉之契也則取鷓鴣名以名大子曰
大鷓鴣皇子取木菟名号大臣之子曰木菟宿祢是平群
臣之始祖也也竟宴集哥子都致數久祢須女羅加
遠伊婆布奈理氣利三の句ハ名易世流許已路波幾
木菟尔雅注云似鷓鴣而小兔頭毛角者也和名都久此
人ハ第三男也三代實録見之下履中紀二
年當是時平群木菟宿祢蘇賀滿智宿祢物部伊苜佛大
連圓大使主共執國事中紀二年見之其間百
三十年於此長壽百○平群臣上乃平群子依
之以此氏人雄畧紀乃初子以平群臣真鳥為大臣武烈

初子真鳥大臣子此此外見ゆ天武紀十三年十一
臣等共誅之此月平群臣賜姓曰朝臣姓氏錄右京平群朝臣石川朝臣
同氏武内宿祢男平群都久宿祢之後也三代實録五十
小右京人平群臣春雄平群臣秋雄平群臣秋常春常等
四人賜姓朝臣春雄自言祖出自都久宿祢矣○佐和良
臣此ハ何國の地名詳若ハ和名抄筑前
早良郡あり早良郷平群郷並びてあり是の但
郡小郷小共佐波良也假字異なり然本
姓氏録此姓を早良也書彼郷小本
佐和良あり後和を波也唱誤也
早字ハ佐乃音也波を通音也和乃通ハ
取之乃字を用ふ例なり凡ての地名乃假字の

祢是巨勢朝臣之祖第三男平群木兔宿祢即是文雄之祖也木兔宿祢之後賜味酒臣姓淪落貫伊勢國至于文雄祖宗改臣賜首姓云云是以改姓之望朝夕刻思云云但須順祖胤之流賜平群之姓而平群之字祢謂是凡巨勢之文義理堪愛云云特賜巨勢朝臣之姓將慰沉淪之懷從之神名式了伊勢國負辨郡平群神社所は此氏人乃彼國よ淪落さるりしゆゆふ祀り社よやあ○木角宿祢木は紀伊國の建内大臣乃生坐家國めて由縁ありはあり又和名抄子山城國紀伊岐郡紀伊郷より二の内なるは角ハ和名抄子周防國都濃郡都濃郷よりなり其由は次小云法一國造本紀周

防國造次子都怒國造難波高津朝紀臣同祖都怒足臣兒田鳥足臣定賜國造りありとて角宿祢乃事は應神紀仁德紀み見えり○木臣木ハ上の木あり此氏人は雄畧紀子紀小弓宿祢紀大磐宿祢小鹿火宿祢顯宗紀生磐宿祢ありハ大磐ナ同トなり欽明紀子紀男麻呂宿祢其外み小見ゆ天智紀子紀大人臣為御史大夫御史蓋今之大納言乎天武紀子十三年十一月紀臣賜姓曰朝臣姓氏錄左京別紀朝臣石川朝臣同祖建内宿祢男紀角宿祢之後也右京紀朝臣石川朝臣同氏屋主忍雄建猪心命之後也建猪心命は景行紀子見えり建内大臣乃父あり三代實錄九子左京人山村忌寸安野

夏野金子等賜姓紀朝臣紀角宿祢之後也冬見ゆ神名
帳小大和國平群郡平群坐紀氏神社名神大月所此り
社は平群坐を以見ゆ此木臣乃みあり建
内大臣乃子孫の氏々々此氏神なり○都怒
臣雄畧紀子九年紀小弓宿祢を大將軍やし新羅伐
討し先給ひに小弓宿祢新羅小在る病志て薨あし
かば子小鹿火宿祢父乃喪小從ひて還ふや死獨留角
國使倭子連奉八咫鏡於大伴大連而祈請曰僕不堪共
紀卿奉事天朝故請留住角國是以大連為奏於天皇使
留居于角國角臣等初居角國而名角臣自此始也
角國は周防國あは都濃郡と云あり小鹿火宿祢は紀氏也云あり

も小弓宿祢乃子也云と云り紀文ありは是疑り
みは見えと云ゆり必然な法と聞ゆあり
しきあゆあり其故の既小祖乃名找角宿祢云は
角國又因是傳之なり聞えあり小鹿火宿祢に至る
初る角國小留居ふに依て角臣名くはいはれ
まはあり故按角宿祢仁德紀小四十二年百濟
小遣されし事河は還來ふ時角國小留居し角
宿祢なりと上引る國造木紀誤りて小鹿火宿祢乃
事小語傳りありあは非あり又祖の代より由縁あり
地あり故小小鹿火宿祢小留居しあやありは
此氏人天武紀に都努臣牛甘見ゆ十三年十一月角臣

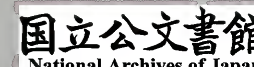
賜姓曰朝臣。姓氏錄左京。朝臣。紀朝臣同祖。紀角宿祢皇別。之後也。神名或曰日向國兒湯郡都濃神社也。此は此氏小由河ふ神もは非依り。坂本臣。坂本臣和名抄云和泉國和泉郡坂本。佐加郷云云。次引る書也。此氏人根臣穴穗官段小見ゆ書紀雄略。卷八根使主乃日根云箱城を造り事見ゆ。日根八和泉國乃郡。其外ハ書紀云此彼見え云云。天武卷八十三至十一月。坂本臣賜姓曰朝臣。續紀卅六云天應元年和泉國和泉郡人坂本臣系麻呂等六十四人賜姓朝臣。姓氏錄左京。坂本朝臣。紀朝臣同祖。建内宿祢男紀角宿祢之後也。又和泉國坂本朝臣。紀朝臣同祖。建内宿祢男紀角宿祢之

後也。男白城宿祢三世孫建日臣。因居賜姓坂本臣。又津國皇坂本臣。紀朝臣同祖。彦太忍信命孫武内宿祢之後也。續後紀云讚岐國人坂本臣鷹野請除讚岐之籍帳。復和泉舊墟許之云云。坂本臣鷹野等十三人。改臣賜朝臣。建内宿祢男紀角宿祢後也。片て右の氏々乃外ハ角宿祢の子孫ハ姓氏錄云掃守田首武内宿祢男紀都奴宿祢之後也。紀祝建内宿祢男紀角宿祢之後也。紀部建内宿祢男都野宿祢命之後也。紀辛提臣建内宿祢男紀角宿祢之後也。一本云ハ大家臣建内宿祢男紀角宿祢之後也。諡天智庚午年依居大家員大宅臣姓掃守田首

此あり、その處も定免難し。但、河内國に孫、姓氏録に
下、如し、引ふ、曾ハ、熊曾乃、曾小同ト、其意ハ、傳五十六、小云
里、此人甚勇健あり、故、此名を負ふ、都ハ、
の、小通ふ、辞あり、書紀、景行卷小、日向、襲津彦皇子、申
次、水あり、作て、此人乃、事書紀、神功、應神、仁德の、卷々小
見ゆ、神功、卷五年小、初て、見え、仁德乃、四十一年、ま、
万葉、十一、六、丁、小、葛木之、其津彦、真弓、荒木、尔毛、云云、
よ、免、り、駿河、風土記、荒木田、襲津彦、あり、伊賀、風土
彦、武内、宿禰、葛城、襲津彦、也、あり、神名、式、須智、荒木、
神社、古今、著、阿集、伊賀、荒木、白髮、明神、乃、相殿、小、坐、葛
城、襲津彦、あり、武内、御子、あり、○玉手臣、玉手、云、地、大和、小、河内、小

元有て、其事、傳北一叶、小云、里、此、姓、何、小、依、也、
あ、定、免、か、ふ、し、天武紀、小、十三年、十一月、玉手臣、賜、姓、曰

朝臣、姓氏録、右京、玉手、朝臣、武内、宿禰、男、葛木、曾頭、曰、古
命、之後、也、○的、臣、的、ハ、伊久波、小、訓、也、書紀、景行、卷小、到
膳、夫、等、遺、蓋、故、時、人、号、其、忘、蓋、處、曰、浮羽、今、謂、的、者、訛、也、
昔、筑紫、俗、号、蓋、曰、浮羽、皇、勅、曰、惜、乎、朕、之、酒、蓋、因、曰、宇、枳
記、波夜郡、後、人、誤、号、生、葉、郡、俗、語、云、酒、蓋、為、宇、枳、
枳、波、夜、郡、酒、蓋、惜、乎、生、葉、郡、俗、語、云、酒、蓋、為、宇、枳、
惜、乎、云、意、あり、和、名、抄、云、意、あり、波、夜、郡、歎、息、の、辞、小、
玉、云、云、此、筑、後、乃、生、葉、の、故、事、ハ、此、小、は、又、式、小、尾
張、國、海、部、郡、伊久波、神社、和、名、抄、淡、路、國、津、名、郡、有、波、以、
久、波、万、葉、二、小、園、臣、生、羽、云、人、名、抄、抑、伊久波、
乃、久、波、を、與、濁、ふ、は、ひ、か、
心、書、海、を、以、清音、
知、法、



的、字を書、之は書紀小令射仁德、射於朝廷、卷、射于
西門庭、卷、天武、射、伊久布、伊久比須、
訓、射、射、的、射、云、被、射、乃、意、
的、伊久波、云、又、天武、紀、射、
波、本、の、古、名、射、云、言、
古、路、世、間、云、阿、字、鏡、の、人、姓、由、久、波、
無、豆、知、也、阿、字、鏡、の、人、姓、由、久、波、
云、伊、由、伊、由、伊、由、伊、由、伊、由、伊、由、
由、緣、ハ、書、紀、仁、德、卷、十、二、年、秋、八、月、庚、子、朔、己、酉、饗、
高麗、客、於、朝、是、日、集、群、臣、及、百、寮、令、射、高麗、所、獻、之、鐵、盾、

的、諸、人、不、得、通、的、唯、的、臣、祖、盾、人、宿、祢、射、鐵、的、通、焉、時、高
麗、客、等、見、之、畏、其、射、之、勝、巧、共、起、以、拜、朝、明、日、美、盾、人、宿
祢、而、賜、名、曰、的、戶、田、宿、祢、是、也、
此、時、又、戶、田、賜、了、也、如、
名、戶、田、了、也、此、時、又、盾、人、
の、
了、賜、了、也、名、
也、既、的、的、戶、田、宿、祢、
也、及、
美、爾、蘇、奈、烏、多、麻、波、利、豆、
後、
無、
氏、の、中、
皇、別、
的、臣、

石川朝臣同祖彦太忍信命三世孫葛城襲津彦命之後也。河内國的臣道守朝臣同祖武内宿祢男葛城曾都比古命之後也。和泉國的臣坂本朝臣同祖建内宿祢男葛城襲津彦命之後也。○生江臣生江地名聞之。何國より未考得次第此氏人の續紀十七小尾張國山田郡人生江臣安久多小生江臣智麻呂九小生江臣東人切少云見えり國造本紀小德國造泊瀬朝倉朝以生江臣祖葛城襲津彦命四世孫菟上足臣定賜國造德國ハ三河國姓氏錄左京生江臣石川朝臣同祖武内宿祢之後也。○阿藝那臣是儿地名り未考

小異あり若子ハ和久碁也訓法一書紀武烈卷歌小思寐能和俱吾鮪若子繼躰卷哥小愷那能倭俱吾毛野若子あり舒明卷哥小氣菟能和區吳毛津若子あり万葉十四小等能乃和久胡殿の若あり古小少壯き人を美く云は稱ひめかくて此宿祢ハ其をやがて名小負はあり。○江沼財臣財字ハ間ひる法一也延佳ガ云ふ信小然依法也。江沼向ハ地名小和名抄小加賀國江沼郡之也。國造本紀能登國造の止小江沼國造柴垣朝御世蘇我臣同祖武内宿祢四世孫志波勝足臣定賜國造也。何れ書紀欽明卷小越人江渟臣裙代也云見え續紀卅五小女孺

江沼臣麻蘇比後紀云江沼臣小並む云人見えり
姓氏錄大和國皇別江沼臣石川同氏建内宿祢男若子宿祢
之後也下小也字無きは前後の例よむが有り○上件
九人並建内宿祢大臣乃子なりあは此大臣の子孫ハ
右乃氏々外ゆル姓氏録云田口朝臣石川朝臣同祖
武内宿祢大臣之後也云云曰佐紀朝臣同祖武内宿祢
之後也欽明天皇御世率同族四人國民三十五人歸化
云云此ハ此大臣乃男等の韓國小罷行り事書紀
子乃未日佐紀朝臣同祖武内宿祢之後也池後臣建
内宿祢之後也山口朝臣道守朝臣同祖武内宿祢之後

也切見え三代實錄十四小荊田首安雄賜姓紀朝臣
安雄自言武内宿祢之裔也續後紀四小丹波國人大村
直福吉及其同族并五人賜姓紀宿祢焉武内宿祢之枝
別也切見え又姓氏錄云出庭臣孝元天皇皇子
太忍信命之後也此ハ此大
臣乃子孫

此天皇御年伍拾漆歲御陵在
劔池之中岡上也。

伊邪河官卷

若倭根子日子大毘毘命坐春

日之伊邪河官治天下也此天

皇娶旦波之大縣主名由基理

之女竹野比賣生御子比古由

牟須美命一柱此王又娶庶母

伊賀迦色許賣命生御子御真

木入日子印惠命印惠二次御

真津比賣命柱又娶丸邇臣之

祖日子國意祁都命之妹意祁

都ツヒメノミコトヲメレテ比賣命。意ウニセル都ミ都コ生御子ヒ日

子坐王コイマスノミコ。一マタ柱カヅラ又娶葛城之垂見宿キタルミノスク

禰ネ之ノ女ムスメ鸛比賣ワシヒメヲメレテウニセル生御子ミ建豐波タケトヨハ

豆羅和氣王ヅラワケノミコ。一ミ柱ミ自波下コノスメラ此天コノスメラ

皇之御子等ミコトノミ并五柱タチアハセテイツハレラ男王ヒコミコ女王メミコ一ヨハレラ

此天皇后の漢様乃御謚。開化天皇也申次。○春日の上

黒田宮段傳北一ノ出四十葉。○伊邪河神名帳大和國漆

上郡率川坐大神御子神社率川阿波神社あり。式四時祭

川社也河也此大神御子神社の也あり。此社也あり。此社也あり。此社也あり。

段一百三十五步云云。万葉七小波波祢護今為妹乎浦若

乃南を經て。かの子守町乃南方を西戸流ふ。小川あり

て云協稱あり。此事浮穴宮段常根津日子伊呂泥命委云り。此後御子多ら乃御名入入毘古入入毘賣申次下傳北一の十葉か多き皆同ト云々。入日子入日女の日の皆濁ふ里。侍て又某之入日古某之入日古也。入の上の字は御名もあり。之字無きハ何れ無きハ透てハ讀むを此御名美紀伊理毘古伊久米伊理毘古也。假字ハ書不處もハ能字無けは之字無き御名ハ之也。は讀ぬハあり。其外伊理泥王又日代官段柴野入杵あり。云名乃伊理心同ト。孝徳紀二年乃處ハ子代入部御名御子代定某部まゝ為御名代定某部云々多き。毛乃を入部云ハ云はあり。然云意ハ彼御子代御名代ハ其御名を後世まで遺るを多ク定免置所。其ハ其人を愛し子思ひ坐て死事なり。故ハ入部ハ云ハ其ハ云。然ハ伊理辨也。訓法きなり。今本ハ心トモハ

部也。訓あり。漫訓あり。又後世ハいけゆハ入部印惠印ハ伊尔二音を合せハ假名あり。書紀ハ五十瓊殖也。書れ。ゆ。ゆ。知法。言義ハ未思得波玉垣朝の皇子ハ印色之入日子命也。申次ハ何れ。迹也云ハ。好ハ彼此乃名多し。惠ハ御真津日子訶惠志泥命の惠也。同トハ協法。○御真津比賣命。此御名義ハ詳あり。云々。御真津日子訶惠志泥命乃下云。協ハ如し。傳二十一。考合次。大彦命乃御女也。此同名あり。水垣宮段見云。乃。彼處乃七葉。云ハ云ハ考合云。法。一。傳七。小ハ六年春正月辛丑朔甲寅立。伊香色謎命為皇后。庶

其兄此兄ハ美古能加美ヲ訓法シ此ハ五柱皇子ト云

乃中の第一ヲ云意ある法を以てなり凡て古能加美

は子上云云之云み子等の中乃第一なる一人を云

称あり又其云を印惠命を指して申せりやせば御阿

ぬ称あり何れを以て此乃兄を云云云云云云云云

○大筒木垂根王筒木の地名なり和名抄小山城國

綴喜郡綴喜郷あり此地名を或ハ下

紀を濁ふハみふろ三音共ハ清音あり綴字を用

ひ云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

足小く多羅志同意垂を即多羅志也訓法を以て

例なり垂字を以て書ふ根ハ例乃尊称なり是

ハ然ハ訓法を以て書ふ根ハ例乃尊称なり是

云名乃例何れ上小之云云云云云云云云云云云

故此名なり筒木の下小之ハ讀添まじりあり

て垂根云云名の例ハ志賀官段小建忍山垂根明官段

小櫻井田部連之祖嶋垂根あり古書ハ宿禰を足

多ハ此足居垂根云云云云云云云云云云云云云

字共小音を取以て假字なり宿禰云云云云云云

垂根王讚岐ハ讚岐國小依也名なり又神名帳小大和

國廣瀨郡讚岐神社和名抄小同郡散吉郷使

本ホのサキサキに訓ふハいぬハ。三代實錄四十四。大和國散吉大建命神散吉伊能城神ハ。式ノの護岐神社ハ。あハあり。此ハ地ハに依ルるハあり。○二王ハ。二柱ノ之御子ハ。訓ハ。上の註ハ乃二王ハ。あハ。布多婆志良ハ。訓ハ。前後ハ。一柱三柱ハ。註ハ。せハ。依ルるハ。同ハ。けハ。あハ。九ハ。て其處ハのハ。あハ。隨ハ。て。同ハ。字ハ。訓ハ。大筒木垂根ハ。王ハ。訓ハ。讚岐垂根ハ。王ハ。あハ。あり。○女ハ五柱ハ。此ハ二王ノの御女ハ。あハ。合ハ。せハ。て五人ハ。あり。其ハ中ハ。幾ハ柱ハ。大筒木垂根ハ。王ノの御女ハ。幾ハ柱ハ。讚岐垂根ハ。王ノの御女ハ。あハ。あり。云ハ。くハ。あハ。知ハ。らハ。ぬハ。次ハ。又ハ。其ハ御名ハ。あハ。るハ。傳ハ。はらハ。めハ。しハ。らハ。あハ。るハ。玉垣宮御段ハ。娶ハ。大筒木垂根ハ。王ノ之ハ。女ハ。迦ハ。具ハ。夜ハ。比賣ハ。命ハ。あハ。るハ。依ハ。りハ。此ハ五柱ノの内ハ。あハ。るハ。あハ。るハ。○坐ハ。也ハ。也ハ。ハ。有ハ。きハ。あハ。るハ。云ハ。くハ。あハ。るハ。凡ハ。て有ハ。をハ。崇ハ。めハ。てハ。云ハ。ふハ。ハ。坐ハ。

ウ云例

あり

次日子坐王娶山代之荏名津

比賣亦名荏幡戸辨此一字生

子大侯王次小侯王次志夫美

宿禰王又娶春日建國勝戸

賣メ之ガ女ムスメ名ナ沙ハ本サ之ホ大ノ閻オホク見ラ戶ミ賣アヒテ。

生子ウミセルミコ沙サ本ホ毘ビ古コ王ノミコ次ツギニ袁ヲ邪ザ本ホ王ノミコ。

次ツギニ沙サ本ホ毘ビ賣メ命ノミコト亦マタ名ノ佐ミナハ波サ遲ハ比ヂ。

賣メ。此コノ沙サ本ホ毘ビ賣メ命ノミコト者ハ為イ伊ツ父メ米ノ。

皆メ以コト音ノキ。天皇ノキ之サ后キト自マセリ沙サ本ホ毘ビ古コ以下以下。

淡ア海フ之ミ御ノ上ミ祝カ以ミ伊イ都ツ玖ク。此此三三。

天アメ之ノ御ミ影カゲ神ノ之ノ女カミ息ノ長ミ水ムス依メ。

比ミア賣ヒテ生ウミセル子ミコ丹タ波ニ比ハ古ノ多ヒ多コ須タ美ス。

知チ能ノ宇ウ斯シ王ノミコ。此此王王名名次ツギニ水ミ之ツ穗ホ。

真マ若ワ王カノ次ミ神ツギニ大カム根オホ王ネ亦ミ名コ八マタ瓜ノナハ。

入日子王次水穗五百依比賣。

次御井津比賣。又娶其母弟。

袁祁都比賣命生子山代之大。

筒木真若王次比古意須王次。

伊理泥王。三柱此二凡日子坐。

王之。子并十一王。

次日子坐。王と比次の上乃其兄也。其次あり。王の次也。○山代ハ山城國なり。此國の事ハ上傳出あり。○荏名津比賣此名諸本共小。荏名名津也。河原ハ名字一ッ行ぢ依比。今ハ真福寺本ハ無キ。小徒ハ初々了荏名ハ地名也。津ハ例乃助辞也。依比又津まじ地名也。ルハ万葉三ノ墨吉乃得名津尔立而云。豆此ハ荏名津の例あり。今山城國綴喜郡小江津村あり。和名抄小荏名衣。○荏名抄小山城國相樂郡蟹古ハ江之津。○荏名抄小山城國相樂郡蟹

幡フナ加無カム郷神名式カム同郡綺原坐健伊那太比賣神社カム
波多カム此地ありカム今ハ綺田村カム錦綺類カム錦カム加無波太カム和名抄上代カムハ加里婆カム
多々云カム一也カム後ハ轉カムテ加爾婆多カム也カム云カムしあカムるカム傳カム
一カム郷名ハ蟹字を書カム傳カム以て知カム傳カムわくカムて其を音便カムハ加牟婆多カム也カムハ
云カムなり又下卷穴穗官段ハ山代カム羽井カム也カムハ依處カム傳カム四
四十考合次カム傳カムハ羽井をカムハ後ト辨カムハ斗賣カム也カム同ト
六葉考合次カム傳カムハ羽井をカムハ後ト辨カムハ斗賣カム也カム同ト
書紀ハ石凝焼神也カム同一書ハハ已凝戸辺カム也カムハ何依ハ
入知カム傳カムハ已字ハ石の誤カムありカムハ此稱乃事ハ上卷伊斯許理度
賣命の處カム傳カムハハ乃云カムハ依ガ如カムハ戸辨の例ハ水垣官段
ハ荒河刀辨書紀神武卷ハ名草戸畔カム傳カムハ此カムハ丹敷戸畔カム
新城戸畔カム也カムハ何依カムハハ新幡戸辨玉垣官段カムハ同名也カム

里彼處カム傳カムハ四のハ云カムハ依ガ考合次カム傳カムハ一カム○大俣王カム小
俣王カム俣ハ全の意カムハ此名乃例ハ明官段カムハ多遲摩之俣
尾カム也カム其外ハ何依カム又兄弟の名を大也カム小也カムハ分カムク
依ハ大碓命小碓命意富祁命表祁命カム也カムハ何依カム彼此カムハ
里大俣王カム云カムハ玉穗官段他田官段書紀舒明卷皇極
卷亦カム也カムハ同名あり○志夫美宿祢王名意未思得波地
名カムハ也カムハありカム也カム神名帳ハ伊勢國安濃郡志夫弥神社カム也
里今ハ波見村カム○春日建國勝戸賣戸賣の事上カム傳カムハ八葉
ハ云カム云カムハありカム○春日建國勝戸賣戸賣の事上カム傳カムハ八葉
ハ云カム云カムハ抑女カムのカム也カムハ親を云カムハ父を奉カムハ例カム也カムハ依カム

亦御名佐波遲比賣也申次又准了て見也バ。姓氏録階

公、小彦坐命、男澤道彦命也。所依ハ此王あふ。○衰

邪本王、小沙本、みて上、同下地、名あり。沙を濁ふハ小

事乃、おのいづに云、後世の哥よ。

佐保姫也云、ろ、何れ、春乃哥よハ佐保姫。秋の哥よハ

左田姫也。よ、ろ、何れ、奈良京のあろ云、出、何れ、

依、立田は奈良より西よありて、立田姫也。申、次、神

坐、小對了て、佐保ハ東よあ依を以て、春よ、何れ、佐保

山參詣記ハ、奈良の何れ、何れ、所よ、佐保姫社よ、ま、ろ、

依、社ル、あ、依、ろ、何れ、○佐波遲比賣御名、義未思得、次、是、ル

地名、澤道、小野、支、云、此、ハ、伊勢國、度會郡、あり、

今、佐、ハ、唱、ふ、依、地、あり、○註、伊久米、天皇ハ、玉垣宮、御宇

天皇、坐、次、書、紀、繼、躰、卷、ハ、活、目、天皇、也、何れ、○室、毘

古、王、和、名、抄、ハ、大、和、國、葛、上、郡、牟、婁、郷、あり、此、地、ハ、依、也

依、名、ハ、○近、淡、海、ハ、上、卷、傳、十、小、見、也、○御、上、祝、御、上、ハ、

和、名、抄、ハ、近、江、國、野、洲、郡、三、上、無、美、加、郷、是、あり、美、加、無、也、

古、ハ、美、加、美、也、ろ、い、ひ、ま、む、拾、遺、集、ハ、安、和、元、年、大、嘗、會、

風、俗、み、ろ、み、の、山、大、中、臣、是、ハ、や、ぶ、依、三、上、乃、山、の、榊、葉

は、榮、え、ろ、益、依、末、乃、世、ま、で、也、清、原、萬、代、也、三、上、の、山、乃

響、く、み、ハ、野、洲、の、川、水、清、ぞ、合、も、也、依、千、載、集、元、曆、元、年

大、嘗、會、悠、紀、方、風、俗、哥、藤、原、季、常、磐、あ、依、三、神、乃、山、の、杉

村、や、八、百、万、世、乃、表、也、ハ、此、餘、ル、歌、多、ハ、祝、ハ、波、布

理少訓山城國相樂郡の郷名祝園此記小波布理曾能
也書又和名抄上野國新田小祝人波布利也是
布理て多るの正郡の郷名神功紀小竹祝天野祝あ見ゆ
神武紀小居勢祝あ見ゆ神社の祝部より非ト景欽
行紀な居勢祝大羽振辺あ乃類の名あ景欽
明紀天皇命神祇伯敬受策於神祇祝者迺託神語報
曰云云持統紀八年三月乙巳奉幣於諸社丙午賜神
祇官頭至祝部等一百六十四人純布各有差也見ゆ職
員令神祇官伯一人掌神祇祭祀祝部の義解謂為祭
主贊辭者也其祝者國司於神戶中簡定即申太政官若
无戸人者通取庶人也祭主此の官職乃祭主よハ非贊辭

ハ祝辭の類あり説文ハ祝祭主贊
詞者書經疏以言告神謂之祝神祇式ハ凡諸神宮
司及神主等未滿六年遭喪解任不得補替仍令祝部行
事服喪之日復任滿限其祇宜祝部一補之後不須輒替
同式凡祇宜祝ハ與人闘打及有他
犯詳其由移送此官國司勿輒決罰民部式ハ凡諸社神
主祇宜祝者擇八位以上及六十以上堪祭事者補之雖
元來定氏之社并神戶百姓而先盡八位及六十以上然
後及壯年白丁即免課役四時祭式祈年祭神祇官祭神
七百三十七座奉班幣帛儀小神祇官人云云大臣以下
云云神部引祝部等入云云中臣進就座宣祝詞每一段
畢祝部稱唯云云忌部二人進夾案立史以官次唱御巫

及社祝^{ハハリ}祝^テ祢^ト唯進^ト忌部^ト頒幣^ト帛^ト畢云云國司祭祈年神二
千三百九十五座祭日并班幣儀並准神祇官^ト之^ト何^ト万
葉四^ト三輪^ト之^ト祝^ト十^ト祝部^ト等^ト之^ト齋^ト經社^ト之^ト十二^ト祝部
等^ト之^ト齋^ト三^ト諸^ト乃^ト犬馬鏡^ト十九^ト住^ト吉^ト尔^ト伊^ト都^ト久^ト祝^ト之^ト神^ト言
寺云云^ト此^ト御上^ト祝^トハ^ト御上^ト社^ト之^ト祝^ト部^ト云云^ト是
い^トハ^ト異^トめ^トて^ト上^ト卷^ト胸^ト形^ト君^ト等^ト之^ト以^ト伊^ト都^ト久^ト三^ト前
大神^ト者^ト也^ト何^ト不^ト類^トあ^トる^ト姓^トなり^ト姓^ト氏^ト録^ト小^ト鴨^ト部^ト祝
紀^ト祝^ト波^ト多^ト祝^ト三^ト歲^ト祝^ト也^ト云^ト姓^トハ^トあ^トる^ト其^ト類^トあ^トる^ト陰^ト一^ト玉
垣^ト官^ト段^ト小^ト坐^ト出^ト雲^ト之^ト石^ト垣^ト之^ト曾^ト官^ト葦^ト原^ト色^ト許^ト男^ト大^ト神^ト以^ト伊
都^ト玖^ト祝^ト之^ト云^ト云^ト何^トは^ト何^トハ^ト語^ト乃^トは^ト異^トなり^ト○以^ト伊^ト都

玖^トハ^ト傳^ト六^ト六^ト十^ト小^ト出^ト○天^ト之^ト御^ト影^ト神^ト天^ト之^トハ^ト神^ト名^トニ^ト附^トと
依^ト例^ト之^ト天^ト之^ト某^ト國^ト之^ト某^ト也^ト云^ト天^ト之^トあ^トり^ト御^ト影^ト小^ト付^トと^ト依^ト小
ハ^ト非^ト次^ト也^ト日^ト御^ト影^ト乃^ト水^ト許^ト曾^ト波^ト云^ト云^ト式^ト之^ト祝^ト詞^ト小^ト皇^ト御^ト孫^ト
命^ト能^ト瑞^ト能^ト御^ト舍^ト仕^ト奉^ト且^ト天^ト能^ト御^ト蔭^ト日^ト能^ト御^ト蔭^ト止^ト定^ト奉^ト且^ト推^ト古
天^ト原^ト尔^ト斗^ト木^ト高^ト知^ト且^ト天^ト能^ト御^ト蔭^ト日^ト能^ト御^ト蔭^ト止^ト定^ト奉^ト且^ト推^ト古
紀^ト哥^ト也^トや^トも^トみ^ト一^トの^トか^トみ^トの^トか^トり^トま^ト次^ト阿^ト摩^ト
能^ト椰^ト蘇^ト詞^ト礙^ト云^ト云^トあ^トる^ト河^ト原^ト万^ト葉^トひ^トふ^トハ^ト天^ト之^ト影^ト云^ト云^ト
少^ト其^ト餘^トハ^ト天^ト之^ト蔭^ト云^ト云^トあ^トる^ト此^ト乃^トは^ト御^ト影^ト也^トハ^ト何^ト
神^ト名^ト之^ト天^ト之^トハ^ト異^トなり^ト乃^ト由^トも^トて^ト負^ト賜^ト了^ト依^ト御^ト名^ト乃^ト詳^トあ^トる^ト次^トと^ト此^ト神^トハ^ト姓
氏^ト録^ト小^ト額^ト田^ト部^ト湯^ト坐^ト連^ト天津^ト彦^ト根^ト命^ト子^ト明^ト立^ト天^ト御^ト影^ト命^ト之^ト
後^ト也^トま^トま^ト山^ト直^ト天^ト御^ト影^ト命^ト十^ト一^ト世^ト孫^ト山^ト代^ト根^ト子^ト之^ト後^ト也^ト上^ト
天津^ト彦^ト根^ト命^ト凡^ト河^ト内^ト直^ト山^ト背^ト直^ト等^ト祖^ト也^ト少^ト何^トは^ト此^ト山^ト直

伊理ハ入日子入日女イリビコイリビメ乃入イリ同ト上ハ泥ハ例の
 尊称タフトミナあり。十一王ハ登表麻理伊都波斯羅トヲマテリイツハシラヲ訓法ハ
 一字ハ五を写誤ハタヒエダをふり將釋田翁ヲチガ誦誤ヨミを所ヲあり數違タカ
 了王上小奉ミコタチ王等ハ合せて十五柱ヒコミコ有ふヒコミコ二柱ヒコミコ女メ
 ありミコ柱ミコ

故兄大侯王之子曙立王次菟

上王カミノミコ柱ニ此曙立王者コノアケタツノミコハ伊勢之品イセノホム遅部君伊

勢之佐那菟上王者セノサナウナカミノミコハ比賣陀次ヒメダツギニ造之祖ニヤツコノミヤ

小侯王者ヲマタノミコハ當麻勾タギマカカリ次志夫美宿ツギニシブミヤク君之祖キミノミヤ

禰王者ネノミコハ佐佐君ササノキミ次沙本毘古王ツギニサホヒコノミコハ之祖也ノミヤ

者ハ日下部連ヒクサカベノムラジ甲次袁邪本王者カツギニラザホノミコハ斐國造ヒクニクニヤツコ之祖ノミヤ

葛野之別カヅノスサノ近淡海チカツアハミ次室毘古王ツギニムロヒコノミコ蚊野之別カノスサノ祖也ノミヤ

者ハ若ワカ狹サ之ノ耳ミ其ソ美ミ知チ能ノ宇ウ志シ王コ。
娶タ丹ニ波ハ之ノ河カ上ハ之ノ摩マ須ス郎ノ女メ生ル。
子ミ比コ婆ヒ須バ比ス賣ヒ命メ次ミ真コト砥ツギ野ニ比マ。
賣メ命ノ次ミ弟コト比ツギ賣ニ命ミ次カ朝ド廷ワ別ケ王ノ。
柱ク四コ此コ朝ミ廷カ別ド王ワ者ノ。
別ミ之カ祖ハ之ミ祖コ。
此コ。

美ミ知チ能ノ宇ウ斯シ王ノ之ノ弟オト水ミ穗ツ真ホ若マ。
王ミ者ハ近チ淡カ海ツ之ノ次ツ神ギ大カ根ム王ホ者ノ。
三ミ野ス國ク之ノ本モ巢ト國ク次ツ山ギ代ニ之シ大ロ。
造ミ長ヤ幡ツ部ベ連ム之ノ祖オ。
筒ツ木キ真マ若カ王ノ娶ウ同ド母メ弟イ伊イ理リ泥ネ。
王ミ之ノ女メ母モ泥ネ能ノ阿ア治チ佐サ波ハ毘ビ賣メ。
阿ア治チ佐サ波ハ毘ビ賣メ。

ウミセルミコカニメイカツチノミコ
生子。迦邇米雷王。迦邇米三此。

ミコタニハノトホツノオミノムスメナハタカ
王娶丹波之遠津臣之女名高

キヒメニシアヒテウミセルミコオキナガノスクネノミココノミコ
材比賣生子息長宿禰王此王

カツラキノタカヌカヒメニシアヒテウミセルミコオキナガ
娶葛城之高額比賣生子息長

タラシヒメノミコトツギニソラツヒメノミコトツギニ
帶比賣命次虛空津比賣命次

オキナガヒコノミコ
息長日子王。三柱。此王者吉備

キミノマタオキナガノスクネノミコカハマタノイナ
君之又息長宿禰王娶河俣稻

ヨリヒメニシアヒテウミセルミコオホタムサカノミコ
依毘賣生子大多牟坂王。多牟
二字

マノクニノミヤツコノオヤナリ
以音此者多遲。摩國造之祖也。

此段ハ日子坐王の御子トモ乃子孫を奉ル。兄也。
ハ大侯王ハ日子坐王乃第一子あり。云云あり。○曙

國葛下郡あり此地の事若櫻宮段傳北八のあり云云

ト彼延小當岐麻十五葉あり如此訓傳ト勾ハ麻賀理和名也訓

トは書紀崇峻卷小廣瀨勾原抄あり處あり云云

大和國廣瀨郡ト下勾ありトハ今ハ當麻ト廣瀨郡

トハ稍遠抄也トハ上代小ハ當麻ハ廣き名ありト

ハ當麻の勾トハ云ふトハ勾トハ地ト事ト下卷

勾之金箸宮段ト云云此氏の事ト考舊事紀小ト

麻坂上君等ト佐佐君考ト彦坐上當ト

祖トありト日下部連日下ハ河内國河内郡トあり地名

あり此地の事ト朝倉宮段ト委云云傳四十一のト

ト沙本毘古王の子孫ト河内國ト在ト云云ハ書紀雄

畧卷小狹穗彦玄孫齒田根命云云使齒田根命資財露

置於餌香市辺云云餌香ハ河内國トありト知ら

トありト見ゆ此氏人ト顯宗紀ト日下部連使主其

子吾田彦孝德紀ト草壁連醜經トあり見ゆ天武紀ト十

三年十二月草壁連賜姓ト宿祢續紀ト九ト河内國河

内郡人ト日下部意甲麻呂賜姓ト日下部連ト日下部連

意甲麻呂賜姓宿祢山城國姓氏録ト日下部宿祢皇別化

天皇皇子彦坐命之後也又攝津國日下部宿祢出自

化天皇皇子彦坐命也又河内國日下部連彦坐命子狹

總彥命之後也。日下部。日下部。連同祖。又和泉國皇別。日下部。

首。日下部。宿祢同祖。彥坐命之後也。日下部。日下部。首同。

祖。三代實錄九。播磨國飭磨郡人。日下部。利貞。日下部。

歲直等。賜姓。日下部。連。貫附。攝津國嶋上郡。狹穗彥命之。

後也。此。日下部。を。み。ひ。今。本。お。は。誤。て。早。部。の。作。り。然。ふ。小。北。四。卷。二。攝。津。國。嶋。上。郡。人。日。下。部。連。歲。直。男。日。下。部。連。利。貞。等。改。本。居。貫。右。京。二。條。三。坊。の。り。あ。り。見。お。て。日。下。部。あ。り。く。や。著。き。ぬ。ハ。改。め。く。引。お。す。

え。く。り。神。名。式。小。和。泉。國。大。鳥。郡。日。部。神。社。あ。り。命。を。祭。る。子。坐。

云。り。○甲斐國造國造本紀小。甲斐國造。纏向。日代。朝御。

世。狹穗彥王三世孫。臣知津彥公。此子塩海。足尾。定賜國。

造。○葛野之別。葛野ハ山城國葛野郡。之。此地。

事。上卷。傳十。又明宮。段。云。傳三十二。二十九葉。此氏考。あ。統。

紀。小。葛野。羽。衝。云。人。見。え。く。り。ハ。氏。の。非。な。り。と。又。姓。氏。録。小。葛野。連。葛野。臣。あ。り。何。れ。ハ。異。姓。な。り。

○近淡海。蚊野之別。和名抄。小。近江國愛智郡蚊野郷。あ。り。是。あ。り。神。名。帳。小。同。郡。輕。野。神。社。あ。り。此。姓。小。考。あ。り。

○若狹之耳。別和名抄。小。若狹國三方郡弥美郷。今。本。弥。字。を。祢。小。誤。何。り。是。あ。り。神。名。帳。小。同。郡。弥。美。神。社。あ。り。何。て。此。也。

氏。小。考。あ。り。○河上之摩須郎女。河上ハ和名抄。小。丹後。

國熊野郡川上郷。あり。是。あ。り。摩須の義ハ未思得。次郎。

女ハ書紀景行卷。小。即。姫。此。云。異。羅。菟。咩。見。え。天。智。卷。

小。伊羅都賣。續紀九。二。小。藤原。伊良豆賣。あ。り。此。

○古事記傳二十二

○七十一

○古事記傳二十二

○七十一

○古事記傳二十二

○七十一

寺小依て訓を定む。又舒明紀小。即媛孝德紀小。媛
あやもあり。侍て男小郎子。女小郎女。云伊羅ハ。伊呂
兄伊呂弟あや。此伊呂。又入彦入姫。乃入あや。皆
同言あして親み愛し。みして云称あり。此事上傳北一
既云云。○比婆須比賣命。御名義未思得次。此ハ玉垣
宮御宇。天皇の大后小坐。書紀垂仁卷。薨坐し。云や。茂
記せ。此処まは。一云日葉酢根命。あやもあり。○真砥野比
賣命。これハ名義未思得次。○弟比賣命。名義字の如し。
右三柱の女王ヒメミコと。この事。玉垣宮。段小出。云。修き事
あやもあり。彼コ傳北六の。ふ云む。あやも。○朝廷別王。廷字
庭字

作ふ本あり。朝廷ハ美迦度。訓此王如何あり。由小
其ハ悪り。朝廷ハ美迦度。訓此王如何あり。由小
て。此名負給。予侍ふ。詳あり。○三川之穂別。三川ハ
参河國あり。此國男川。豊川。矢作川。云。三の大川あり。
故小。三川。名く。云。男川ハ。今大平川。云。豊川ハ。
吉田川。あり。云。或説ふ。ハ。
男川ハ。加茂郡。より出。池。鯉。鮒。の西。今。國。の。東。也。南。穂
予。添。あ。川。あり。云。大。平。川。ハ。非。ト。云。も。云。り。穂
ハ。和名抄。小。参河國寶。飲。穂。郡。あり。是。あり。飲。字。誤。て。
今。ハ。舊。事。紀。五。小。三。川。穂。國。造。美。已。止。直。云。人。あり。美
然。五。舊。事。紀。五。小。三。川。穂。國。造。美。已。止。直。云。人。あり。美
止。美。加。度。よ。く。似。云。ハ。若。く。ハ。此。ハ。此。朝廷。別。王。の。こ
也。ハ。非。ふ。侍。て。國。造。本。紀。小。ハ。穂。國。造。泊。瀬。朝。倉。朝
以。生。江。臣。祖。葛。城。襲。津。彦。命。四。世。孫。菟。上。○近。淡。海。之。安
足。祢。定。賜。國。造。云。あり。此。の。傳。云。異。あり。○近。淡。海。之。安
直。直。字。諸。本。共。小。置。云。作。其。ハ。若。ハ。稻。字。の。脱。云。云。小

て、稍置あつて、むらも思ふや、知直を誤り、好む。下
高津宮、段あつて、むら直字、故改免、安ハ和名抄、近江、
を置お誤り、例あり。國野洲郡、これあり、此氏ハ考あ、倭建命、段ハ近、淡海、
之安國造、云あり、此ハ別、むら同き、う、あ、此記
國造、祖、何、我、書紀、ゆ、紀、直、祖、何、あ、あ、例、
何、氏、を、時、々、の、加、婆、泥、あ、ま、直、何、國、造、
ゆ、語、傳、り、あ、つ、つ、○三野國之本巢國造、此ハ二氏、あ、上
ハ三野國造、あ、を、造、字、を、之、お、誤、り、あ、つ、日、代、
宮、段、ハ、三野國造、之、祖、神大根王、見、之、書紀、其、卷、ゆ、
美濃國造、名、神骨、ゆ、ゆ、あ、り、若、三野の本巢、あ、
石城國造、常道、仲國造、あ、あ、例、を、思、あ、三野之、
あり、て、國、字、ハ、何、ま、あ、あ、あ、あ、あ、三野國、あ、

ル、本巢、ゆ、ハ、別、な、國造、本紀、ゆ、ル、三野前國造、春日、率、川、
ハ、が、ご、思、は、る、朝、皇子、彦坐、王子、八瓜、命、定、賜、國造、ゆ、
ル、あり、抑、如、此、前、ゆ、後、ゆ、ハ、越、前、越、後、ゆ、の、例、
乃、前、後、ゆ、若、然、ら、ハ、美濃、の、内、あ、三巢、郡、ハ、京、師、乃、
方、お、依、也、ハ、道、口、ゆ、ゆ、あ、あ、三野前國、
本巢、郡、乃、何、ゆ、を、云、ふ、ゆ、て、此、ル、其、國、造、
三野、之、本巢、國造、ゆ、云、依、證、ゆ、ル、ゆ、き、が、如、く、あ、
ゆ、ル、美濃、國、を、前、後、ゆ、二、分、お、ハ、其、前、の、方、ゆ、ル、本、
巢、を、あ、き、て、あ、を、教、郡、の、地、あ、ハ、本巢、國造、の、外、ハ、三、
野、前、國、造、あ、つ、む、ル、妨、ゆ、ゆ、ハ、其、を、三野國造、云、む、
ル、又、妨、ゆ、又、本巢、郡、乃、内、ハ、美濃、郷、ハ、何、ゆ、バ、上、古、ハ、
三野國造、ゆ、云、ハ、其、あ、ゆ、乃、國造、本巢、國造、ゆ、云、
ハ、又、本巢、ゆ、云、地、ル、何、ゆ、其、地、の、國造、ゆ、ゆ、
ハ、何、事、ハ、何、ゆ、又、ゆ、乃、前、後、ゆ、ハ、時、代、の、前、後、を、
分、て、云、ふ、ゆ、ル、思、ゆ、ル、若、然、ら、ハ、三野、
ハ、上、ゆ、出、ゆ、天、武、紀、ハ、美濃、連、本巢、ハ、和、名、抄、ハ、美濃、
ゆ、云、あ、ゆ、ル、異、姓、ゆ、ゆ、

國本巢須毛止郡ろれあり此氏考あり○長幡部連神名

帳小常陸國久慈郡長幡部神社あり此地あり類聚國

史五十四又常陸國人長幡部福良女授少初位上云云

主計式諸國輸調小長幡部絶一尺六丈廣一尺九寸所武藏國賀

美郡小長幡部神社あり○同母弟ハ師の伊呂村訓生あり

用ふ若櫻宮段穴穗宮段ふ伊呂弟あり

同ト考合次法書紀小母弟同母弟ありをハ口トオナジ

字の誤あり真福寺本小は此二字を用波又

一本小母字の傍名欽字意得次阿治ハ阿遲ハ

鉏高日子根あり乃阿遲同佐波ハ佐波遲比賣の

佐波ハ同き○迦迦米雷王米字舊印本又一本あり

小依生注り同ト雷ハ伊加豆智訓法

豆知訓ふ非あり記中豆知此字を用ひる例

記ハ書紀めハ香來雷山雷土あり此上乃御の韻の伊

伊加豆知あり名義ハ蟹目嚴ト云称名ハ然ふハ此

王の目乃嚴ありきるめハ蟹ハ目乃殊小嚴き物あり

ハ譬言はありむ豆知ハ尊称あり野推神の下傳五の

葉小云ふが如ハ又建御雷神の下傳五の七を考

合せて雷イカサ多意を知らず。中臣氏イカサの雷イカサ大臣命イカサ云
何イカサ。姓録三代実録イカサあらず見えず。此ハ仲哀記神
功紀允恭紀イカサ。中臣鳥賊津使イカサ。此ハ仲哀記神
仲哀の御世イカサより允恭の御世イカサまでハ仲哀の御世イカサ
同名イカサありて異人イカサあり。又中臣系圖イカサハ天兒屋根命イカサ
の五世孫イカサハ伊香津臣命イカサ。是又異人イカサあり。其故ハ
其伊香津臣命イカサの五世孫イカサハ伊賀都臣イカサハ意美佐夜麻イカサの子イカサハ
不皇續紀イカサハ六世伊賀都臣イカサハ意美佐夜麻イカサの子イカサハ
都臣イカサハ系圖イカサハ雷イカサ大臣命イカサあり。系圖イカサハ伊賀都臣イカサハ
不皇續紀イカサハ六世伊賀都臣イカサハ意美佐夜麻イカサの子イカサハ
同名イカサあり。三人イカサあり。抑イカサこれハ此ハ要イカサあり。事
男イカサ為推筒城王イカサ。推筒城王イカサ男息長宿祢イカサ云々。此據イカサあり
若然イカサらば此王イカサの亦名イカサを若筒木王イカサ申イカサ一也

ハ記中イカサハ用ひイカサハ系例イカサなり。此記イカサハ凡イカサて人名地名
定イカサまり。若紀イカサ云言イカサあり。む。決イカサく写誤イカサあり。不
ハ必イカサ木字イカサ又城字イカサを書イカサふ例イカサあり。諸本イカサ並材イカサ
ハ杖イカサあり。然イカサ生イカサル。證イカサル考得イカサ。諸本イカサ並材イカサ
作イカサは今イカサ輒イカサく改イカサ之難イカサ。故訓イカサハ姑イカサく舊本イカサの随イカサに附イカサつ。
名の意イカサル考イカサふ。手イカサ著イカサあり。○息長宿祢王イカサ息長イカサハ近
江國坂田郡イカサ乃地イカサ名イカサあり。上イカサ又出イカサ。○葛城イカサ之高額イカサ比賣イカサ和
名抄イカサハ大和國葛下郡イカサ高イカサ額イカサ郷イカサあり。此地イカサハ依イカサる名イカサふ
是イカサハ此比賣イカサ乃世系イカサハ明官イカサ殿イカサ未イカサ見イカサえ。新羅國イカサよ
是イカサハ參来イカサ也。天之日イカサ牙イカサの末イカサ多イカサ遲イカサ摩イカサ比イカサ多イカサ訶イカサ云イカサ又イカサの女イカサ

毛ふれり。○上件ハ皆日子坐王の御子孫
 あり。右乃外ふり。此王の御子孫ハ。姓氏録ふ。治田
 連。開化天皇皇子彦坐命之後也云云。輕我孫。治田連同
 氏。彦坐命之後云云。大私部。開化天皇皇子彦坐命之後
 也。輕我孫。公。治田。連同祖。彦今。簀命之後也。堅井。公。彦坐
 命之後也。別。公。同上。川。侯。公。日下部。宿祢同祖。彦坐命之
 後也。川。侯。公。日下部。連同祖。彦坐命之後也。豐階。公。川。侯
 公同祖。彦坐命。男。澤道。彦命之後也。酒人。造。日下部同祖
 也。見え。三代。實録。八。丹波。國。何鹿。郡。人。刑部。首。夏
 繼。賜。姓。豐階。宿祢。刑部。首。弟。官。子。賜。豐階。朝。臣。夏。繼。等。自

言先出自彦坐命

也。見えあり。

上所謂建豐波豆羅和氣王者

道守臣。忍海部造。御名部造。稻
 羽。忍海部。丹波之竹野別。依網
 之阿毘古。等之祖也。

所謂ハ。伊波由流。訓例あり。此ハ倭建命。段。上
 云。若建王云云。又輕嶋。官。段。末。上云。多遲摩比多訶云

云ふ^{オホシサマ}所^ニあ^ルも^ト同格^{ナリ}なり^バ伊^イ南^{ナン}流^{リウ}也^{ナリ}訓^{クニ}法^{ホウ}也^{ナリ}○建^{ケン}豊^{トウ}波^ハ

豆^{トウ}羅^ラ和^ワ氣^キ王^{ワウ}諸^{シヨ}本^{ホン}み^ミふ^フ羅^ラ字^ジを^ヲ脱^{ダツ}せ^セ依^イ茂^モ今^{イマ}は^ハ延^{エン}佳^ケが^ガ考^{コウ}

子^シ補^ホ子^シも^モふ^フ依^イ朝^{チヨウ}○道^{チモリ}守^シ臣^シ道^{チモリ}守^シみ^ミ由^ユあり^テ此^{コノ}祿^{リキ}を^ヲ

負^フふ^フ。妹^{イモ}臣^シ膳^{テン}又^{マタ}地^チ名^ナり^リ詳^{ササ}あ^ラる^ル次^ジ今^{イマ}和^ワ泉^{セン}國^{クニ}大^{ダイ}鳥^{トウ}郡^{クニ}塚^{ツカ}

路^ロを^ヲ守^シ持^チ者^{シヤ}を^ヲ云^{イフ}云^{イフ}者^{シヤ}ハ^ハ山^{サン}守^シ野^ノ守^シみ^ミ由^ユあり^テ此^{コノ}祿^{リキ}を^ヲ

追^{ツイ}む^ム也^{ナリ}千^チ遍^{ヘン}思^シふ^フ事^{コト}弱^{ジュク}如^ニの^ノ吾^ガ身^ミみ^ミ由^ユあり^テ此^{コノ}祿^{リキ}を^ヲ

紀^キ神^シ代^{ダイ}卷^{クワン}小^コ泉^{セン}守^シ道^{ダウ}者^{シヤ}あり^リ和^ワ名^ナ抄^{セウ}道^{ダウ}路^ロ具^キみ^ミ由^ユあり^テ此^{コノ}祿^{リキ}を^ヲ

漢^{カン}語^ゴ抄^{セウ}云^{イフ}知^チ毛^{モウ}利^リ也^{ナリ}巡^{ジュン}行^{コウ}也^{ナリ}巡^{ジュン}行^{コウ}也^{ナリ}巡^{ジュン}行^{コウ}也^{ナリ}巡^{ジュン}行^{コウ}也^{ナリ}

三年十一月道守臣賜姓曰朝臣姓氏録云左京道守朝臣開化天皇皇子武豊葉頰別命之後也又皇別道守臣

道守朝臣同祖豊葉頰別命之後也又山城國道守臣道

守朝臣同祖武波都良和氣命之後也又今本道守同

祖建豊羽頰別命之後也又攝津國道守臣道守朝臣同

祖武葉頰別命之後也又見ゆ又波多八代宿祢の後み

也道守朝臣又道守臣ありて姓氏録に見えあり然也

武御世み朝臣姓を賜ふ所は何方の道守氏ありを

み朝臣ありて姓氏録に二方共はて氏人ハ天智紀み道

守臣麻呂續紀北五み道守臣多祁留四十み道守臣東

人あり見ゆ東人ハ百北二歳ありて其髪尚多聰如少

於天皇曰臣每張網捕鳥未曾得是鳥之類故奇而獻之
云々是今時鷹也云々是月甫定鷹甘部故時人号其養
鷹之處曰鷹甘邑也依網云ハ此人の網を張鷹を捕
て獻也功を觀て此時は始て賜
了依網云ハ或は或は但既ハ神功紀ハ見也此ハ
ハ後乃名を前了及ハ記也ハ内也ハ依網阿
網屯倉ハ皇極紀ハ見也ハ河内也ハ依網阿
毘古也依網屯倉阿毘古也ハ一也ハ依網日本紀
集註云定家卿家集ハ依網の祠官の求子了君ハ代ハ
よき哥を了ハ又よき了ハ松也杉也ヤ千年榮也ハ
網池ハ住吉社より辰巳ハありて十六七町ハ海
邊也今ハ蓮蔭蔭多ハ社ハ池ハ北ハ庭井也云村ハ
南ハ今ハ小き也ハハハハハハハハハハハハハハハハ
其西ハあり云々鷹甘邑ハ今ハ鷹合也書云ハハハハ
云村住吉郡ハあり是あり也云ハ庭井村鷹合村今時

續紀十八ハ攝津國住吉郡人依羅我孫忍麻呂等

五人賜依羅宿祢姓神奴意支奈祝長日等五十三人依

羅物忌姓姓氏錄ハ皇別攝津國依羅宿祢自下部宿祢同祖

彦坐命之後也也ハハ御兄弟の間傳乃異也

依此ハ外

羅連あはせ
と異姓あり

天皇御年陸拾參歲御陵在伊

邪河之坂上也

御年六十三歳書紀小へ六十年夏四月丙辰朔甲子天
 皇崩一云時年百十五也所り大御父天皇の二十二年
 六也所り依ら或書小百十一也云此の年依て
 百十一歳あり伊邪河之坂上書紀小六十年云々冬十月
 伊邪河之坂上書紀小六十年云々冬十月
 癸丑朔乙卯葬于春日率川坂本陵一云坂上陵也所り
 諸陵式小春日率川坂上陵春日率川宮御宇開化天皇
 在大和國添上郡兆域東西五段南北五段以在京戸十
 烟毎年差充令守也見ゆ坂上云坂本也云二の傳乃
 ぞよむ又兆域の狭き前皇廟陵記小或曰今在奈
 平坂京内あり故な依陸一前皇廟陵記小或曰今在奈
 良林小路韓國社奥念佛寺境内也云念佛寺の後方
 小あり今此所

ありの坊名又油坂町坂之新屋町西
 坂あり云あり坂上云小由あり



Handwritten text in vertical columns, likely a historical document or record. The text is written in black ink on aged paper. Several characters are highlighted in red ink, possibly indicating specific names or titles. The text is arranged in approximately 15 columns, with some characters appearing to be in a different script or dialect.

